



全校研究だより

第7号

令和2年12月3日(木)

青森県立青森第二養護学校 研修部

専門性向上研修アンケート結果

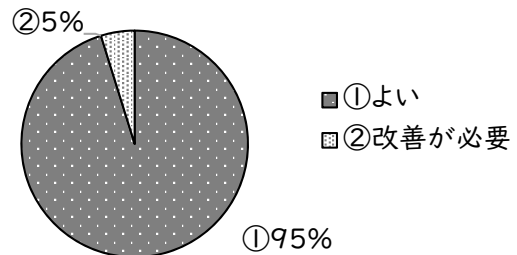
(※対象者96名、回答者82名 回答率85%)

9月30日(水)、「なかまとともによりよく生きる～自立活動の指導を通して、一緒に学ぼうコミュニケーション～」をテーマに、校内の研修と「令和2年度 地域における特別支援教育相談強化事業」を併せて専門性向上研修を行いました。講師に弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻(教職大学院)の敦川真樹先生をお招きし、ご講演をいただきました。

事後アンケートでは、先生方の「気づき」や「学び」に関する記述を多くいただきました。

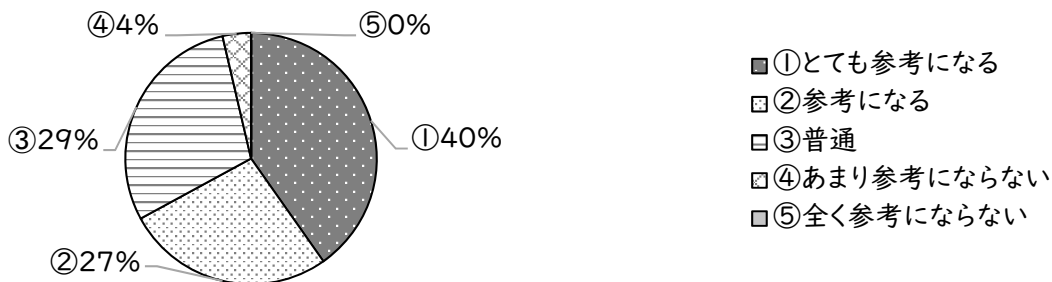


問1 講師及び講演内容について



- 映像での具体例があり、大変勉強になった。(複数意見)
- 失敗例から学ぶというスタイルで講演を受けた機会がなかったので、興味をもって聞くことができた。また、コミュニケーションについてポイントを絞ってお話しされていたので分かりやすかった。
- 時間が経っても、子供に対する見方等の基本、大事にしたいことは変わらないなど改めて思った。
- 一番大切なのは先生が子供と信頼関係を築いて、自分の指導を振り返ることだと改めて感じた。
- 時間の指導での具体的な授業例(一対一だけでなく小集団)も示していただけるとありがたいと思った。
- テーマのイメージから、時間における自立活動でコミュニケーションの指導法など掘り下げた内容を期待していたが少し残念だった。

問2 今回の研修について



- 動画もあり、特に失敗例を聞いて良かった。(複数意見)
- 日頃の子どもへの関わり方について、振り返る良い機会となった。(複数意見)
- 動画で問題を確認したことで課題が明確に分かったことから、動画に撮って検証することは有効だったと思った。
- 講義を受けて、子どもとコミュニケーションをとる際に自分が上手くできなかった点が見つかった。どうしたら改善できるのかということも分かったため、敦川先生の実践例をもとに指導の仕方を考え直していきたい。
- より専門的な内容や事例が聞きたいと感じた。

研究係より

設問1においてほとんどの職員が「①よい」と回答し、設問2では「①とても参考になる」「②参考になる」と回答した職員が約7割だったことから、自立活動の指導力向上の一助となったと考えます。「動画を撮影して振り返り、指導を修正することの大切さを感じた。」という意見や「信頼関係の重要性に改めて気付いた。」という意見が多く、自分の指導を振り返る機会となったのではないのでしょうか。学校経営の重点事項である「自立活動の指導の充実」のため、今後研修で得た学びや気づきを指導に生かし、児童生徒のコミュニケーション能力の向上を目指していきましょう。

一部、「コロナ対策に不安を感じた。」という意見がありました。1月に予定されている第2回校内研修会では、席の間隔をさらに広げる等の対策を行い、実施したいと思います。